

# ヴォーカル Vocal Concert コンサート

春を待つ歌声  
日本のうた&世界のうた  
フルートオーケストラの響き

合唱指揮&ソプラノ  
女声アンサンブル  
松下めぐみ

ピアノ 仲香織



坪岡加真



三上周子

女声アンサンブル【友情出演】



密井ひと恵



コーラマデウス  
綾部市混声ア・カベラ



アンサンブル「風」  
京都市女声コーラス

### 主な演奏曲目

無伴奏混声合唱による日本名歌集『ノスタルジア』より  
「花」「朧月夜」 信長 貴富 編曲

女声合唱とピアノのためのグリーク歌曲集『ソルヴェイグの歌』より  
「さくら草」「春」 寺島 陸也 編曲

木下敦子女声合唱曲選ア・カベラより「鷓」「44わのべにすずめ」

The Load bless you and keep you ラター 作曲

金子みすゞ詩による童謡歌曲集『ほしとたんぼぼ』より  
「わたしとことりとすずと」「ごだまでしょうか」他 中田喜直作曲

「ネッラ・ファンタジア」 モリコーネ 作曲

オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」より関奏曲 マスカーニ 作曲



フルートオーケストラ アジュール  
舞鶴市



フルートアジュール指揮  
掛村 岳志  
【賛助出演】

2023年

# 2月19日(日)

## 14:00開演(13:30開場)

会場

京都府中丹文化会館 綾部市里町久田21-20  
0773-42-7705

入場料 《全自由席》

一般 1,000円(当日1,500円)

中学生 500円 小学生以下 無料整理券

お問合せ

ヴォーカルコンサート0219事務局  
塩田 090-7364-0451

※綾部駅南口より送迎バスがあります。

行き ①13:00 ②13:30 終演後も綾部駅まで運行します。

※コロナウイルス対策として、マスクの着用、検温、消毒などにご協力ください。

企画 合唱指揮 ソプラノ

## 松下 めぐみ (まつした めぐみ)

大阪音楽大学音楽学部音楽学科声楽専攻卒業。(特非)関西歌劇団正団員。声楽ソロ出演の他、コーラス指導、ヴォイストレーナーを務める。また、ジャパン・チェンバー・クワイア、Radiant Singers のメンバーとして混声ア・カペラの活動を続ける。大阪音楽大学同窓会《幸楽会》京都府中丹支部役員。アンサンブル「風」(女声合唱)、コール・アマデウス(混声合唱)指揮者。ラベンダーハーモニー(こどもコーラス)主宰。光陽堂楽器音楽教室声楽講師。合唱指揮を松原千振、声楽を故栢本淑子に師事。京都府立高等学校非常勤講師。京都府綾部市在住。

兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、  
京都市立芸術大学音楽学部器楽学科卒業、  
同大学院ピアノ専攻修了。  
合唱団ピアニスト、オーケストラのチェレスタ、  
ピアノ奏者として活動する

## 友情出演

### 坪岡 加真 (つばおか ますみ)

大阪音楽大学音楽学部声楽学科声楽専攻卒業。  
現在、ジャパン・チェンバー・クワイア、  
女声アンサンブル リュミエール・  
ブランシュに所属する。  
奈良県吉野町在住。

### 三上 周子 (みかみ ちかこ)

同志社女子大学学芸学部音楽学科  
演奏専攻声楽コース卒業、同大学  
音楽学会《頌啓会》特別専修生修了。  
1999年ヴォーチェ・ベルステラ加入。  
現在、関西を中心に幅広く活動。  
大阪市在住。広島県江田島市出身。

### 密井 ひと恵 (みつい ひとえ)

同志社女子大学学芸学部音楽学科  
演奏専攻声楽コース卒業、同大学  
音楽学会《頌啓会》特別専修生修了。  
「東山コーラス」指導者、茨木市芸術  
協会会員。滋賀県大津市在住。

### アンサンブル「風」

2001年に京都市で発足した女声合唱団。アルティ声楽アンサンブルフェスティバル、京都合唱祭、関西レディースコーラスフェスティバル、京都レディースオータムコンサートなどに出演。単独の演奏会も開催している。ア・カペラの宗教曲や邦人合唱作品を中心に、時にはピアノ伴奏付きの曲にも取り組んでいる。

### コール・アマデウス

2005年2月7日古典音楽に親しみ、追及することを目的に数名の仲間で結成。舞鶴赤レンガでのサロンコンサートや、舞鶴コミュニティコンサート、綾部市民合唱祭、コーラスフェアに出演。  
団主催演奏会をこれまでに5回開催。

### フルートオーケストラ アジュール

2007年舞鶴フルートアンサンブルとして結成。2018年よりフルートオーケストラアジュールに改名。  
アジュールはフランス語で紺碧の意味を持つ。深く黒みを帯びた青色は舞鶴の海と重ね合わせる意味を持つ。  
アルトフルートからバス、コントラバスの特殊管を駆使したハーモニーは各地で好評を博している。